

令和7年度

のびゆくすがた

学校教育目標

今を確かに生き、
未来にはばたく子どもを育てる



第1学年

氏名 岩下 弥生

校長 高館 正司

担任 勝本 真帆

下川町立下川小学校

No.	5	氏名	岩下 弥生
-----	---	----	-------

教科の学習の記録				
教科	観 点	学 習 の 目 標	評 価	
			前 期	後 期
国 語	知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	◎	◎
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもっている。	◎	◎
	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、楽しんで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。	◎	◎
算 数	知識・技能	数の概念や計算の意味を理解し、量や図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を積み重ね、数量や図形についての感覚を豊かにし、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。	◎	◎
	思考・判断・表現	数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形の特徴を捉えたり形の構成について考えたりする力、量の大きさの比べ方考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを身に付けている。	◎	○
	主体的に学習に取り組む態度	数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。	○	○
生 活	知識・技能	活動や体験の過程において、自分自身や身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気づいているとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。	○	◎
	思考・判断・表現	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉えて、自分自身や自分の生活について考え、表現している。	○	○
	主体的に学習に取り組む態度	身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学ぼうとしたり、生活を豊かにしたりしようとしている。	○	◎
音 楽	知識・技能	曲想と音楽の構造などとの関わりについて気づき、音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付け、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったりしている。	○	◎
	思考・判断・表現	音楽の要素を聴き取り、そのよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、それらの関わりについて考え、その表現について思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだし、音楽を味わって聴いたりしている。	○	○
	主体的に学習に取り組む態度	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	◎
図 画 工 作	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気づき、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。	◎	○
	思考・判断・表現	形や色などを基に自分のイメージをもって、造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。	○	◎
	主体的に学習に取り組む態度	つくりだす喜びを味わい楽しく表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。	○	◎
体 育	知識・技能	各種の運動遊びの行い方について知っているとともに、基本的な動きを身に付けている。	○	○
	思考・判断・表現	各種の運動遊びの行い方を工夫しているとともに、考えたことを他者に伝えている。	○	○
	主体的に学習に取り組む態度	各種の運動遊びの楽しさに触れることができるよう、各種の運動遊びに進んで取り組もうとしている。	○	○

特 別 の 教 科 道 徳	
項 目	評 価
学年末	「勤労、公共の精神」をテーマにした学習では、みんなのために働くことよさについて考えました。友達の考えを聞くことで、考えを深め、みんなのために働くとうれしい人がいることに気が付きました。

生 活 の 様 子			
項 目	観 点	評 価	
		前 期	後 期
基本的な生活習慣	時間を守ることや場に応じたあいさつ、返事、言葉づかい、身のまわりの整理整頓ができる。		
健康・体力の向上	心身の健康の保持増進に努めることができる。		
自主・自律	自分で計画し進んで実行することや、目標に向かって最後までやりぬくこと、自分の行動をふり返り、誤りを素直に改めることができる。		
責任感	自分の言葉や行動に責任をもつことができる。		
創意工夫	進んで新しい考えや方法を生み出すことができる。		
思いやり・協力	人の気持ちや立場を理解し自分と異なる意見も尊重することや、互いに信頼し合い仲よく助け合うことができる。		
生命尊重・自然愛護	自然や生命のすばらしさを知り、自然環境や動植物を大切にできる。	○	○
勤労・奉仕	働くことの大切さを知り、進んで働くことができる。		○
公正・公平	相手の立場に立って意見を述べ、行動することができる。		
公共心・公德心	約束やきまりの大切さを理解し守ることや、学校や人々の役に立つことを考えて行動することができる。		

所 見	
前 期	後 期
初めての学校生活でしたが、1日の流れや活動内容を丁寧に説明することで、学校の生活にも慣れ、楽しく生活する姿がたくさん見られました。アサガオの観察では、葉っぱの形や色などをよく見て、模様の違いや葉っぱと茎の色の違いに気づくことができました。後期も、元気に楽しく学校生活を送れるように、よさやがんばりを認め支援していきます。	漢字の練習にとっても丁寧に取り組んでいます。「林」や「森」の字をバランスよく書くことが難しく、自分が納得できるまで何度も書き直して練習していました。時間がかかっても途中でいい加減にすまらず、丁寧に書こうとがんばっていきやすいです。給食当番の時には、自分の準備を早くすませて、配膳していました。みんなのためにとがんばる姿に感心しました。2年生でもいろいろなことにチャレンジし、成長することを期待しています。

修了証

氏名 岩下 弥生

小学校第1学年の課程を修了したことを証する

令和8年3月31日

下川町立下川小学校長 高 館 正 司



通知表の見かた

学習の様子	各教科の観点ごとのねらいに対して、どの程度実現しているかを、「◎・○・△」のいずれかでお知らせします。 ◎…目標に対し、十分に到達しています ○…目標に対し、おおむね到達しています △…もう少しの努力を期待しています
生活の様子	設定した評価の観点に対して、一人ひとりの児童の実現状況を、「○・記号なし・△」のいずれかでお知らせします。 ○…目標を対し、十分に到達しています 記号なし…目標に対し、おおむね到達しています △…もう少しの努力を期待しています
特別の教科 道徳の様子	「特別の教科 道徳」における学習の様子、学習の成果を学年末にお知らせします。

特 別 活 動 の 記 録

項 目	前 期	後 期
学 級 活 動	悩み解決係	お助け係

出 欠 の 記 録

学 期	授 業 日 数	停 止 忌 引 等	出 席 す べ き 日 数	欠 席		出 席 日 数
				病 気	事 故	
前 期	101	0	101	0	1	100
後 期	98	1	97	0	0	97
学 年 計	199	1	198	0	1	197

令和7年度	個別の指導計画				後期
学年・学級	りんどう	学級	1年	児童名	岩下 弥生
	記入者				勝本 真帆
教科	後期の目標	指導の手立て			学習の様子
自立活動	・落ち着いて生活することができる。	・1日の始めに予定を確認したり、本人が落ち着くことができる環境を整えたりする。			・見通しをもつことで、自信をもって活動することが増えました。 ・かがやき教室が自分の思いを表現できる場所となり、安心して学習できるようになりました。
	・様々な運動遊びの楽しさに触れ、基本的な体の動きを身に付ける。	・粗大運動を中心に体の使い方を練習させる。 ・マットや鉄棒、跳び箱など遊びの中で体を上手に使えるように内容を工夫し、環境を整える。			・友達と一緒に練習することで、抵抗感が減り、楽しく活動することができました。 ・鉄棒では、腕をしっかり伸ばして体を支えることができました。 ・跳び箱の上から跳び降りる学習では、「膝を曲げるといい!」とピタっと着地する方法を見つけることができました。
	・不安なことや困ったことがあれば、相談することができる。 ・自分の想いを我慢せずに、伝えることができる。	・不安なことや困ったことがあれば、教師に相談することができるように関係を築く。 ・相談できたときは、よかったことをフィードバックして自信を付けさせる。			・わからないことは、すぐに教師に相談することができるようになりました。 ・かがやき教室で学習している仲間には、自分の思いをはっきり伝えられるようになりました。
国語	・文字の形や書き順を理解し、正しく丁寧に書くことができる。	・ドリルや教科書を使っての学習に加え、文字表を使用し、興味をもって学習に取り組める工夫をする。 ・正しい書き順で書けたり、丁寧に書けたりした時は、大いに褒め、やる気を引き出す。			・とめ、はね、はらいを意識して書くことで、読みやすく、整った文字が書けるようになりました。 ・ひらがなやカタカナは、書き順を意識して書けるようになりました。 ・わからない漢字は、ヒントを出すことで正しく書くことができました。
	・登場人物の行動や様子から気持ちを読み取ることができる。	・登場人物の行動や様子が変わったことがわかりやすいような、教材作りの工夫を行う。			・「うみへのながいたび」では、母ぐまが百日も穴の中で子育てしていたことを知り、「お腹がすいてへとへとだと思う」と母ぐまの気持ちを考えることができました。 ・「スイミー」では、海の生き物たちと出会うことでだんだん元気を取り戻していくスイミーの気持ちを理解することができました。
算数	・10までの計算ができる。	・できるまで繰り返し練習させる。 ・指を使っても計算できないときは、20玉そろばんを使用する。 ・できた時は大いに褒め、やる気を引き出す。			・10までの計算は指を使って、計算することができました。 ・繰り上がり、繰り下がり計算にも挑戦し、20玉そろばんを使って正しく計算することができました。
	・広さや大きさ、水の量などに着目して、比べることができる。	・身の回りにある物を使って、広さや大きさ、量の理解の基礎となる経験を積めるように指導する。			・レジャーシートの広さを比べる際に、実際に重ねて比べました。縦横の長さが違って比べるのが難しいときには、折り紙などの同じ大きさのものを並べて比べればよいと気が付きました。 ・2つの水筒のかさを比べるときには、同じ大きさのコップいくつ分になるかを調べることで、見た目ではわからないということに気づいていました。